

どしゃさいがい 土砂災害



平成29年7月6日 上空からさつえいした平成29年7月九州北部豪雨のときの朝倉市杷木志波の土砂災害の様子

いっしょに考えてみよう

どうしてこんなに
家が流されて
しまったの？

ぼうさい 防災クイズ

Q1

住んでいるところに土砂災害警戒情報が発表されたため避難所に避難をしましたが、今は雨がやんでいます。このときにどのようなことに注意すれば良いでしょう？

①斜面がくずれてないか様子を見に行く。
②土砂災害警戒情報や大雨警報が消えるまで避難を続ける。
③雨がやんだので家に帰る。

防災クイズ

Q2

土砂災害が起きそうですが、大雨で避難所へ行けそうにありません。このときに取るべき行動は次のうちどれでしょう？

①できるだけ高い階に上がり、斜面とは反対側の部屋へ避難する。
②無理やり避難所に避難する。
③1階の部屋で救助を待つ。



発生の仕組み・どんなことが起きる?

どしゃさいがい 土砂災害って何だろう?

土砂災害とは

斜面がくずれ落ちる、すべり落ちる、雨で土や砂、石がおし流されるなどの現象を土砂災害といいます。雨が多い梅雨や台風の時期に発生することが多いです。

また、地震や地下水などが原因で起こることがあります。

土砂災害は急に起きて、建物がおしつぶされたり、おし流されたりします。



土砂災害には3種類あります

がけ崩れ

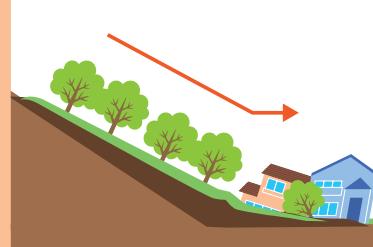


雨水がしみこんで、やわらくなった斜面が急に崩れ落ちる現象です。日本で最も多い土砂災害であり、人の住む家の近くでも急に起きるため、にげおくれてせいとなる人が多い災害です。

前ぶれ

- がけから水がふき出す。
- がけにひびが入る。
- 小石が落ちてくる。

地すべり



雨によりゆるくなった斜面がすべり落ちていく現象です。大雨や雪どけの時期に起こりやすく、広いはんいの斜面がすべり落ちていくので、大きな被害につながります。

前ぶれ

- 地面にひびが入る。
- 山の斜面や地面から水がふき出す。
- 建物や電柱、木がかたむく。

土石流



長く降った雨や集中豪雨などで、山や谷の土や砂、石が水とともにいっさに下流に押し流される現象です。流れる方向にあるものを次々にのみ込んでいきます。

前ぶれ

- 石のぶつかりあう音が聞こえる。
- 雨がふり続いているのに、川の水位が低い。
- どろくさいにおいかする。

どうしたら被害を防げる？

土砂災害から身をまもるには



土砂災害は はやめの避難が大事

土砂災害は急に起きて、短い時間で大きな被害がでます。被害に合わないために、土砂災害が起きる前に行動することが大事です。

外の様子をよく観察して、危険や前ぶれを感じたら避難できる状況のうちに避難しましょう。



土砂災害警戒情報に ついて知ろう

雨が降り続き、土砂災害がいつ起てもおかしくない状況になると、土砂災害警戒情報が発表されます。市町村ごとに発表されるため避難の目安にしましょう。



土砂災害警戒区域に ついて調べよう

土砂災害のおそれのある場所はハザードマップで土砂災害警戒区域とされています。自分の家や通学路、避難経路はどうなっているのか調べてみましょう。

調べるときは24ページを参考に、住んでいる市町村のハザードマップみてみましょう。



雨がやんだ後も注意

雨がやんだ後でも、これまでにふった雨が土の中に残っています。雨がやんでも土砂災害警戒情報や大雨警報が発表されている間は、土砂災害のおそれがあるので注意しましょう。



土砂災害から身をまもるにはどうすれば良いのか考えてみましょう。